

「周辺視目視検査法」導入セミナー

～検査の生産性を倍にする画期的な検査法！～

通常、目視検査員には目が良いこと、集中力があること、良・不良の判断のブレが少ないことが要求されています。

しかし、この中で“集中力”は短時間しか持ちません。新米の検査員に対する“よく見なさい”という指導は結果として不良の見逃しにつながります。ベテランの検査員は“**良品の確認**”と“**リズム**”で検査をしています。

本セミナーではベテラン検査員の検査作業の分析と目の機能展開に基づいて開発された新しい目視検査法である“**周辺視目視検査法**”を社内に定着化させ、検査効率向上・見逃し率低減などを旨とするを目的としています。

日ごろ検査部署で見逃しや長期間かかる検査員の習熟でお悩みの**指導者**や**管理者**の方々はぜひともご参加ください。

このようなことでお困りの方必見！！

製造コストの観点から
目視検査の効率向上
が必要

目視検査員の育成が難
しい



製品の目視検査工程でNG
品の見逃しが問題となっ
ている

目視検査工程での処理時
間製造工程のボトルネッ
クとなっている

【実施概要】

日時：平成30年8月7日(火) 13:00～17:00

会場：テクノアークしまね 4F 大会議室（松江市北陵町1番地）

定員：50名程度

参加費：無料

申込締切：7月31日(火)

申込方法：裏面の申込書に記載のうえFAX、または、Eメールにてお申し込みください

主催：(公財)しまね産業振興財団

講師 佐々木 章雄氏 周辺視目視検査研究所 代表

【ご略歴】

1970年日本IBM 藤沢工場入社以来、一貫してIE(Industrial Engineering)業務に従事。

1998年に特に専門とする動作分析を基礎とし検査作業の分析と機能展開により「周辺視目視検査法」を作った。

2003年にHDD事業部が日立に売却後、一時早期定年退職し中国企業でIEの指導を行っていた。また、(株)日立グローバル・ストラテジーズの海外量産工場にて生産性向上の指導後、退職。

元慶応大学の川瀬武志先生のグループの先生方と「周辺視目視検査法」の共同研究のかたわら、本セミナー講師やコンサルタント活動も行っている。また、検査の自動化を目的として、画像応用技術(学会)香川大学石井教授のグループと研究中。

「周辺視目視検査法導入セミナー」 申込書

企業名			
所在地	〒	TEL	FAX
申込責任者	氏名	E-mail	
参加者氏名 E-mail	氏名	E-mail	
	氏名	E-mail	
	氏名	E-mail	
	氏名	E-mail	

※ 本講座受講にあたり開示いただいた個人情報は、講座実施に係る運用・管理及び受講後のアンケートや当財団からのアンケート調査や事業紹介など当財団の活動の範囲以外で使用することはありません。

【申込み・お問合せ先】

公益財団法人しまね産業振興財団
 経営支援課 担当 土井 安食
 TEL:0852-60-5115 FAX:0852-60-5116
 E-mail:con@joho-shimane.or.jp

「ものづくり工場管理実践塾～検査編～個別訪問指導コース」開催予告

この度の本セミナーに参加頂いた企業様の中で、「周辺視目視検査法」を社内に定着化させたいとお考えの企業様向けに「ものづくり工場管理実践塾（検査編）個別訪問指導コース」の開催を予定しております。詳細については、8/7(火)開催の周辺視目視検査法導入セミナー時にご説明・ご案内いたします。

【開催スケジュール(予定)】

- ①10月2日(火) 又は 10月3日(水) 佐々木氏による個別指導 1社3時間程度
- ②12月4日(火) 又は 12月5日(水) 佐々木氏による個別指導 1社3時間程度

ものづくり工場管理実践塾 上級コース(検査編) 個別指導開催イメージ

